

# ドキュメンタリー写真家がみた イスラエルとパレスチナ

第三者の視点から見る

共存への道

※写真は左がパレスチナ人、右がイスラエル人です。

森 佑一氏(ドキュメンタリー写真家)の視点を通して、イスラエル・パレスチナの多様な実情を感じていただくと共に、「第三者」である日本人の視点から、「人間の共存への道」を考える、一つの契機としていただきたい。そのような思いから企画致しました。



©Uri Cavari

## 森 佑一 | Yuichi Mori

ドキュメンタリー写真家

1985年香川県生まれ。2012年より写真家として活動を始め、国内で東日本大震災被災地、市民デモ、広島、長崎、沖縄等の撮影を行う。2015年から2年間、青年海外協力隊としてヨルダンにて活動し、現地の生活を通してイスラム教や中東文化への理解を深める。現在は海外に活動の場を広げ、戦時下にある国や地域の実情を取材発信している。これまでの主な取材地は、パレスチナ、イスラエル、イエメン、ウクライナ、シリア等。ライフワークはイエメン取材。

### ▼メディア出演・取材

- ・戦闘下の日常、イスラエルとパレスチナの写真展に込めた思い(NHK 松山放送局 2024年3月1日)
- ・The Burning Issues「イスラエル・パレスチナ、共存の動きを撮った!」(デモクラシータイムス 2024年3月19日)
- ・安田菜津紀「ドキュメンタリー写真家のメッセージ」ゲスト：森佑一さん(CAPA 2024年10月号)
- ・イスラエル・パレスチナの現状伝える 愛媛大で写真家・森佑一さん講演会(愛媛新聞 2024年11月16日) 等

## — 展覧会 —

会期：2025年5月19日(月)～7月26日(土)

場所：愛媛大学ミュージアム 企画展示室・多目的ルーム

午前10時～午後4時30分(入場は午後4時まで)、日曜・祝日休館、入場無料

主催：愛媛大学法文学部多様性研究会、愛媛大学ミュージアム





